



須坂市

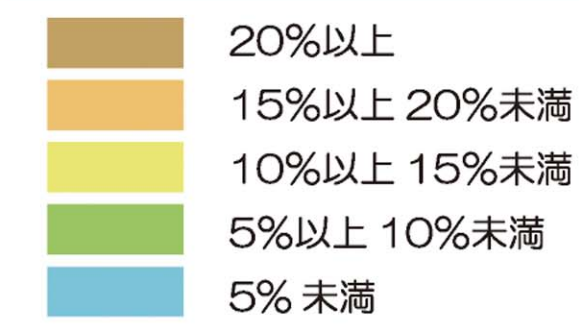
地震防災マップ

Earthquake disaster prevention map
地震防災地図
지진 방재지도
Mapa de Prevenção de Desastres de Terremoto
Lindol kalamidad prevention mapa

地域の危険度マップ 2/2

凡例

建物全・半壊率



防災関係施設

- 避難場所・避難所
- 予備避難場所・避難所
- 警察署・交番・駐在所

主要道路

- 国道
- 県道・主要地方道

地域の危険度マップとは

「地域の危険度マップ」とは、揺れやすさマップ相当の揺れとなった場合、著しい被害を受ける割合(全・半壊する建物の割合)を50mメッシュ単位で表現したものです。

このマップに示す建物全・半壊率は、「地震防災マップ作成技術資料(内閣府・平成17年3月)」に基づき、地域(町丁目・大字単位)としての建物被害の危険度を示したものであり、個別の建物の危険性を示すものではありません。そのため、建物全・半壊率が高い地域であっても耐震性の高い建物は壊れにくく、反対に建物全・半壊率が低い地域であっても老朽化した建物は壊れる可能性があります。

避難場所・避難所一覧

番号	名称	所在地	電話番号	避難対象町名
13	仁礼小学校	仁礼 96-2	026-245-2343	仁礼町、亀倉町、米子町
14	東中学校	亀倉 6-6	026-245-2342	塩野町、夏端町、仁礼町の一部、亀倉町の一部
15	豊丘小学校	豊丘 1070	026-245-0491	豊丘町、豊丘上町、大日向町
16	峰の原高原集会所	仁礼 3153-756	-	峰の原高原

予備避難場所・避難所一覧

番号	名称	所在地	電話番号
30	須坂青年の家	仁礼峰の原 3153-784	0268-74-3017
38	豊丘保育園	豊丘 2440-1	026-248-2118
39	仁礼保育園	仁礼 120	026-248-2192
41	夏端保育園	亀倉 10-58	026-248-0441
42	仁礼コミュニティセンター くつろぎ荘	仁礼 7-16	026-245-8118 026-246-2058
47	豊丘地域公民館	豊丘 1076	026-245-9768

揺れやすさマップ

揺れやすさマップとは

「揺れやすさマップ」とは、須坂市に影響のある「信濃川断層帯を震源とする地震」、「糸魚川ー静岡構造線断層帯(北部)を震源とする地震」について、それぞれの震度分布を作成し、どちらか大きい震度を50mメッシュ単位で表現したものです。「震度」とは地震による揺れの程度を表す指標です。

なお、地震の規模や震源の位置が異なれば、揺れやすさマップに示した震度よりも強くなったり弱くなったりすることがあります。

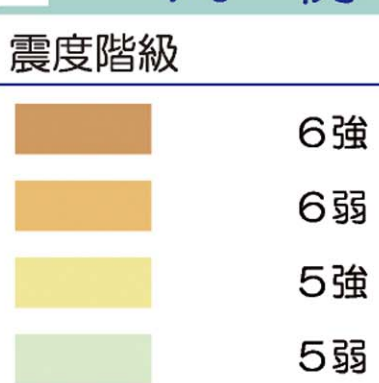
想定地震

「信濃川断層帯を震源とする地震」は善光寺平から新潟県小千谷市付近の信濃川沿岸に分布する断層帯で発生する地震で、地震の規模を表すマグニチュードは7.5です。「糸魚川ー静岡構造線断層帯(北部)を震源とする地震」は小谷村から松本市に分布する断層帯で発生する地震で、地震の規模を表すマグニチュードは8.0です。これらの地震によって予想される震度は市全域で震度5弱から6強と想定されます。

信濃川断層帯を震源とする地震
(マグニチュード7.5)糸魚川ー静岡構造線
(北部)の地震
(マグニチュード8.0)

震度階級のみかた

震度階級	人間の感覚	屋内の状況
7	◆揺れに翻弄され、動くこともできず、飛ばされることもある。	◆固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛び出すこともある。
6強	◆立っていることができません、はわなと動くことができません。	◆固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
6弱	◆立っていることが困難になる。	◆固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ◆ドアが開かなくなることがある。
5強	◆物につかまらないうち歩くことが難しい。	◆棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。 ◆固定していない家具が倒れることがある。
5弱	◆大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	◆棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 ◆固定していない家具が移動することがある。

揺れやすさマップ
凡例

防災関係施設

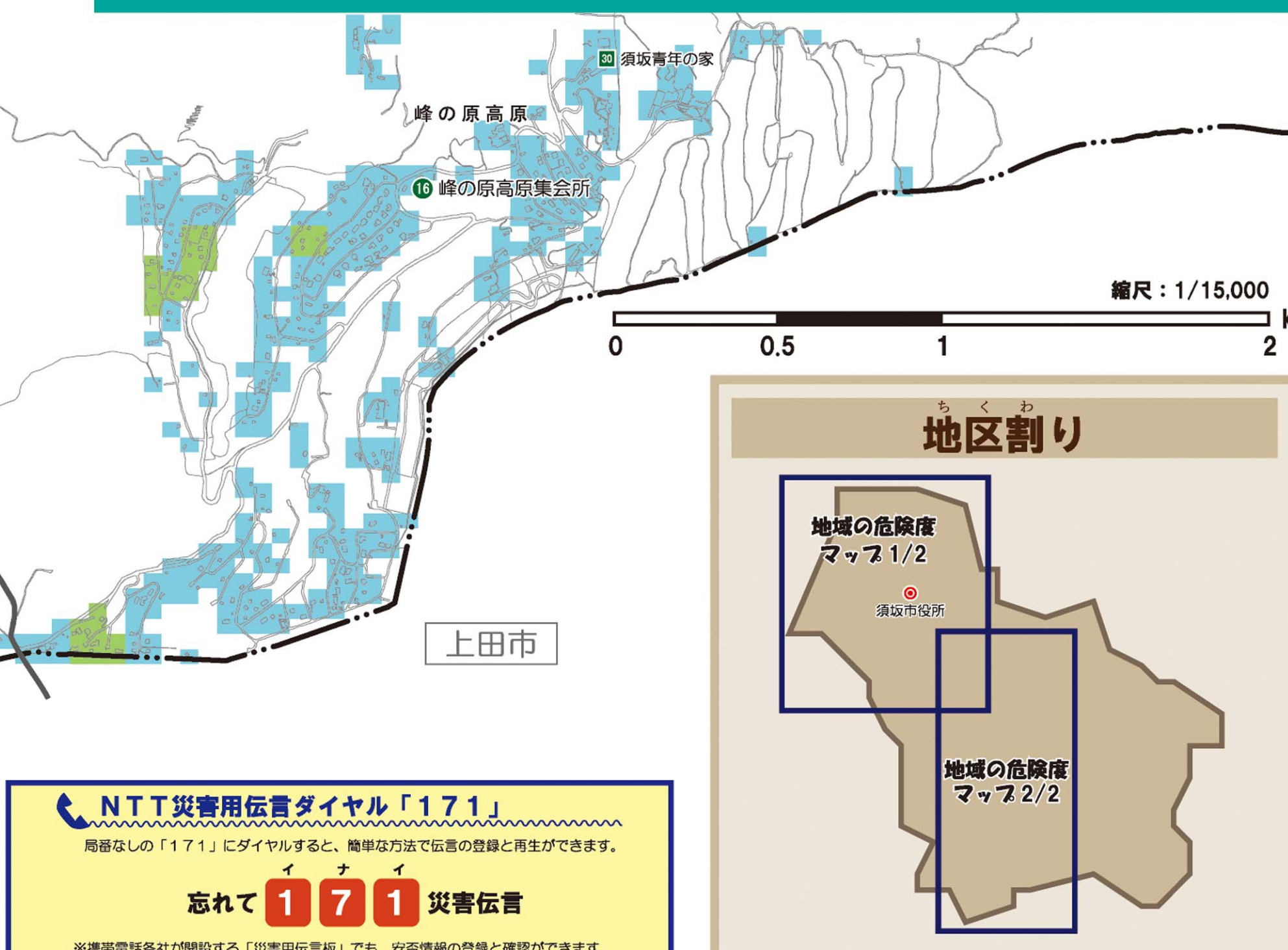
- 市役所
- 消防署
- 警察署等

緊急輸送道路

- 第一次緊急輸送道路
- 第二次緊急輸送道路

主要道路

- 国道
- 県道・主要地方道

縮尺: 1/70,000
0 1 2 4 km

NTT災害用伝言ダイヤル「171」

局番なしの「171」にダイヤルすると、簡単な方法で伝言の登録と再生ができます。

忘れて171災害伝言

※携帯電話各社が開設する「災害用伝言板」でも、安否情報の登録と確認ができます。

家の中

- 身の安全を確保する。
- すばやく火を消す。
- 窓や玄関の扉を開け、脱出口を確保する。

学校の中

- 急いで教室から飛び出さないで、まずは机の下にもぐり、頭を保護する。
- 地震の揺れがおさまったら教職員の指示に従う。

エレベーターの中

- すべての階のボタンを押し、最初に停止した階へ降りる。
- 停電などで、ドアが開かなくなったら非常ボタンを押し指示を待つ。

オフィスの中

- 机上のOA機器の落下に注意し、すばやく机の下にもぐりこむ。
- 外へ逃げるときは落下物に注意する。

こんな場所で

- ブロック塀や石塀、電柱からすぐに離れる。
- ガラスの破片、看板などの落下物に注意し、持ち物で頭を保護する。

スーパーの中

- 買い物かごやバッグ等で頭を保護する。
- 慌てず、係員の指示に従う。
- 避難の時は階段を使う。

電車の中

- つり革や手摺に両手で握まる。
- 足を踏ん張って前かがみ姿勢をとり、カバンで頭を保護する。
- 電車の外には出ないで乗務員の指示に従う。

屋外

- ブロック塀や石塀、電柱からすぐに離れる。
- ガラスの破片、看板などの落下物に注意し、持ち物で頭を保護する。

車の運転中

- ハンドルをしっかり握り、少しずつスピードを落とし道路の左側に停車する。
- 揺れがおさまるまで車内で待ち、ラジオで地震情報を確認する。